



平成 25 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 岡藤ホールディングス株式会社  
代 表 者 名 取締役社長 松 井 政 彦  
( J A S D A Q ・ コード 8 7 0 5 )  
問 合 せ 先  
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 小 崎 隆 司  
電 話 0 3 - 5 5 4 3 - 8 7 0 5

### 平成25年3月期第3四半期の連結業績見通しおよび特別損失の計上に関するお知らせ

平成 25 年 3 月 期 第 3 四 半 期 累 計 期 間 ( 平 成 2 4 年 4 月 1 日 ~ 平 成 2 4 年 1 2 月 3 1 日 ) の 連 結 業 績 に つ き ま し て は 現 在 集 計 中 で あ り ま す が 、 決 算 の 概 要 が ま と ま り ま し た の で 、 業 績 見 込 み を お 知 ら せ い た し ま す と と も に 、 前 年 同 期 実 績 と 比 較 し て 差 異 が 生 じ る 見 込 み と な り ま し た の で 、 下 記 の と お り お 知 ら せ い た し ま す 。

#### 記

#### 1. 平成 25 年 3 月 期 第 3 四 半 期 累 計 期 間 の 連 結 業 績 見 込 み お よ び 業 績 と の 差 異

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前年同期実績 (平成 24 年 3 月 期 第 3 四 半 期 累 計 期 間) (A)	4, 258	△717	△632	△1, 615
当期実績見込み (平成 25 年 3 月 期 第 3 四 半 期 累 計 期 間) (B)	3, 683	47	156	52
増 減 額 (B - A)	△575	764	788	1, 667
増 減 率 (%)	△13. 5	—	—	—
(ご参考) 平成 24 年 3 月 期 実 績	5, 073	△1, 231	△1, 234	△2, 579

#### 2. 差異が生じた理由

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興関連を中心に公共投資の増加が続く一方で、海外経済の減速から欧州向け等の輸出が減少に転じ、企業の生産や設備投資も次第に弱含みとなりました。雇用情勢は厳しい状況が続いたものの、住宅部門など個人消費には底堅さが見られました。

商品市況は、金を中心とした貴金属や、原油、穀物ともに上昇を経て次第に横ばい推移となり、全国市場売買高は40,023千枚（前年同期比78.1%）となりました。

このような状況のなか、当社グループの中核事業である商品取引関連事業における受取手数料は3,168百万円（前年同期比88.8%）となりました。また、売買損益につきましては、石油市場におけるディーリングが好調だったこともあり、195百万円の利益（前年同期比102.7%）となりました。なお、商品取引関連事業のセグメント利益は、493百万円（前年同期は、196百万円のセグメント損失）となる見込みであり、大幅に改善しております。

この結果、営業収益は3,683百万円（前年同期比86.5%）となる見込みであります。また、営業費用につきましては経費削減効果により3,635百万円（前年同期比73.1%）となる見込みであります。これらにより、営業利益は47百万円（前年同期は717百万円の営業損失）、経常利益は156百万円（前年同期は632百万円の経常損失）を、それぞれ計上する見込みであります。

これに加えて、固定資産の廃棄に伴う固定資産除却損16百万円、ならびに投資顧問関連事業の廃止に伴う事業再編損68百万円を特別損失として計上することなどから、四半期純利益は52百万円（前年同期は1,615百万円の四半期純損失）を計上する見込みであります。

### 3. その他

平成 25 年 1 月 28 日付の「厚生年金基金解散に伴う特別損失の発生に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、第 4 四半期会計期間において 165,864 千円を特別損失として計上する見込みであります。当社グループは、この特別損失の発生に対応するため、第 4 四半期会計期間において、保有する投資有価証券の一部を売却し、投資有価証券売却益を計上する予定であります。

以 上